

# 千葉知施連ニュース 第 11 号

千葉県知的障害者支援施設家族会連合会 <http://c-tisiren.jp>

〒289-3186 匝瑳市川辺 6 1 6 6 発行日：平成 28 年 7 月 30 日

## 第 1 1 回平成 2 8 年度千葉知施連総会報告

第 1 1 回総会が 6 月 26 日（日）に千葉市ビジネス支援センター（きぼーる）で、37 支部 64 名の出席（その外委任状 10 支部）を得て開催されました。

第 I 部の総会では、最初に奥澤会長から、英国の EU 離脱など政治経済の大きな変動の中、今から 3 年後の障害者総合支援法の見直し（障害福祉の抑制、介護保険との統合等）を、注視していかなければならないとの挨拶があり、続いて議案の審議に入りました。

第 1 号議案では、平成 27 年度活動報告、会計決算報告、会計監査報告があり、特に質問はなく、賛成多数で承認されました。

第 2 号議案役員改選について、奥澤会長から、北川信人、松田世紀夫両氏が退任され、新たに河村正和（中野学園）、松永裕之（協和・日吉厚生園）の両氏を選任するとともに、村上幹事を副会長に新任させ役員強化を図りたい、との議案説明があり、満場一致で承認されました。

次に第 3 号議案平成 28 年度活動方針案と会計予算案が審議されました。活動方針では「考えよう！わが子らが安心して暮らせる場を」のスローガンの下、施設における虐待防止に取り組むとともに、支部長会議（11 月予定）や研修会（29 年 2 月予定）を開催し、情報の提供や情報交換を積極的に行い、組織の強化に注力する。

上部団体の全施連活動では、障害者支援法 3 年後の見直しへの取り組みや、虐待防止、差別解消、成年後見制度促進等各法の問題点や、29 年度から開始される社会福祉法人改革の情報収集と研修を図る。

また千葉県障害福祉課と懇談会を開催し、当県支援施設利用者の現在抱えている諸問題や、将来の課題などを問題提起するとともに、意見交換をしてわれわれの思いを伝えていきたい旨説明されました。

28 年度予算案では、横浜開催の全国大会参加費補助に特別会計前年予算（約 70 万円）をほぼ使い切ったことにより、これを廃止し、残額（9 千円弱）を一般会計予算に繰り入れることとしたい旨、説明がありました。特別会計廃止について質問があり、会長より今年度福岡、来年度秋田開催の全国大会参加費補助は、一般会計から支出したい旨説明があり、その後採択に入り、全員一致で採択されました。

協議事項として熊本地震義援金の募集が審議されました。入所施設が被害を受け建て替えざるを得ない施設が多数あり、全施連から知的障害者施設利用者に特化した募金をしたいので、各県に協力要請があり、当県としては東日本大震災の折、全施連から義援金をいただき、県内 5 施設に配分した経緯から、協力したい旨提案されました。

その結果、募集金額 1 口 10,000 円以上、募集期間 7 月 1 日～8 月 31 日とし、専用口座に振り込みしてもらい、当会繰越金から相応の金額を上乗せして、当連合会の義援金総額とすることが了承されました。

第Ⅱ部の講演会では、千葉県知的障害福祉協会支援施設部会長佐久間智氏より、「これからの知的障害者の暮らし方～障害の多様性とライフステージにあわせて～」の講演がありました。スライドにより、特に高齢障害者の支援について、医療的な支援、施設での看取り、今後の支援の在り方について、具体的で分かりやすく説明され、出席者の理解を深めました。

平成 28 年度千葉県知的障害者支援施設家族会連合会役員（任期 2 年）

会 長	奥澤 時宗（のさか学園）	顧 問	中原 強（千葉県知的障害者福祉協会）
副会長	山田 温道（ふる里学舎）	顧 問	里見 吉英（ 同 上 ）
副会長	市川 豊（上総喜望の郷）	顧 問	小林 勉（ 同 上 ）
副会長	村上 邦治（しもふさ学園）	顧 問	佐久間 智（ 同 上 ）
幹 事	矢作 貞代（大久保学園）	顧 問	篠島 治男（しもふさ学園）
幹 事	鈴木 賢治（千原厚生園）		
幹 事	山岸 譲二（齊信会・畑町ガーデン）		
幹 事	河村 正和（中野学園）		
幹 事	松永 裕之（協和日吉厚生園）		
監 事	井上 恒雄（北総育成園）		
監 事	大川 和枝（みずほ学園・千葉）		

◇県障害福祉課との懇談会開催のお知らせ◇

平成 28 年度県障害福祉課との懇談会が次のとおり開催されます。

- 日 時：9 月 9 日（金）午後 1 時 30 分～4 時頃まで
- 場 所：千葉市ビジネス支援センター会議室（きぼ一）
- 出席者：（ 県 ） 障害福祉課長ほか 3 名  
（連合会） 会長ほか幹事 8 名
- 質問事項（主なもの）
  - ①第五次障害者計画の進捗状況について（入所待機者数、強度行動障害者の対応、サテライト型住居の設置、袖ヶ浦福祉センターの現況、直近の虐待発生件数など）
  - ②入所施設の新設について（入所待機者の増加への対応）
  - ③入所施設の充実について（施設整備、個室化の推進など）
  - ④社会福祉法人改革について（改正法人統治体制の監督・指導など）
  - ⑤今後予想される問題について（65 歳問題、成年後見制度の促進など）

◇編集後記◇

前代未聞の大惨事が 26 日未明に起きました。神奈川県津久井やまゆり園での元施設職員による刃物での利用者 19 人を殺害、26 人に重軽症を負わせた事件です。亡くなられた方々のご冥福を祈り、ご遺族に哀悼の意を捧げます。また、負傷された方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。報道によると犯行は計画的で、ここに至るまでの経緯はさておき、犯人の「障害者はいなくなればいい」等の言動は許しがたいものであり、無抵抗の障害者への犯行に憤りを感じます。施設の安心・安全が改めて問われる事件です。（時）